



京都市
CITY OF KYOTO



<報道発表資料>
(大学同時)

令和 7 年 4 月 1 8 日

公立大学法人京都市立芸術大学 附属施設事務室

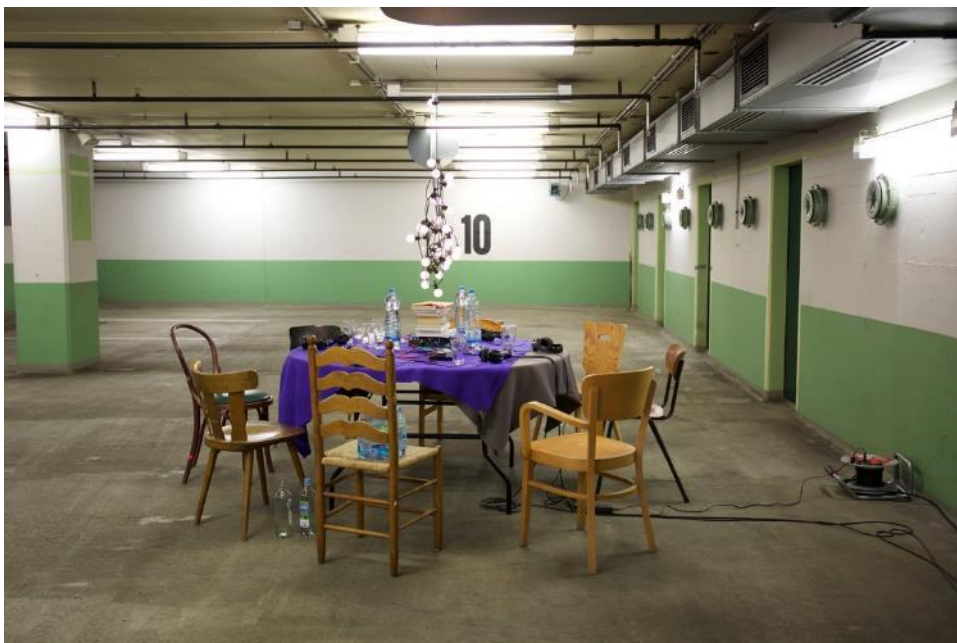
取次：京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 展覧会

「スキマをひらく」の開催

——いまの時代に「共に生きる」ために、表現者たちがやっていること

世界のあちこちで分断と対立が深刻化し、先行きが不透明な時代にわたしたちは生きています。そうしたなかで、多様な背景をもち、考え方もそれぞれに異なる人々が歩み寄り、共に生きていくためにはどうすればよいのでしょうか。本企画では、人々が時間と場所を共にし、対話を重ねることによって広がる可能性について、乾久美子、小山田徹、田中功起、副産物産店の 4 組の作品や実践を通して考察します。



田中功起 《Provisional Studies: Workshop #7 How to Live Together and Sharing the Unknown》2017 年

【展覧会「スキマをひらく」概要】

- 会期：令和 7 年 5 月 3 日（土・祝）～6 月 22 日（日）午前 10 時～午後 6 時



京都市
CITY OF KYOTO



- 休館日：月曜日（5月5日（月・祝）は開館、翌平日の5月7日（水）を休館）
- 会場：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
- 入場：無料
- 主催：京都市立芸術大学
- 助成：芸術文化振興基金



乾久美子 | ねれる公共／横浜美術館
(2025 年、撮影：川又修平)



副産物産店《移動式芸術資源循環センター》
(2025 年、撮影：吉本和樹)



小山田徹「いま、バリアとはなにか」展示風景
(せんだいメディアテーク、2010 年)



小山田徹（京都市立芸術大学理事長兼学長）

< 出典作家について >

乾久美子（いぬい・くみこ）

建築家／乾久美子建築設計事務所主宰／横浜国立大学都市イノベーション学府・建築都市スクール（Y-GSA）教授。1969 年大阪府生まれ。京都市立美術工芸高校移転整備工事 乾・RING・フジワラボ・o+h・吉村設計共同企業体代表。近年は社会における「commons（共有財）」が重要であると考え、commonsをはぐくむ空間やきっかけづくりを大切にしている。また、「小さな風景からの学び」というリサーチの経験を生かしながら、commonsの多様な可能性を探っている。



京都市
CITY OF KYOTO



小山田徹（こやまだ・とおる）

芸術家／京都市立芸術大学理事長兼学長（2025 年 4 月着任）。1961 年鹿児島県生まれ。

「共有空間の獲得」をキーワードとし、人々を巻き込みながら空間そのものを体験させる独自のアート手法を探索。焚き火場など、人々が集い関わる場を生み出し、社会に実装される共有空間が持つ新たな可能性を探索。2005 年第 2 回アサヒビール芸術賞受賞。

田中功起（たなか・こおき）

アーティスト／京都市立芸術大学美術学部構想設計専攻准教授。1975 年栃木県生まれ。

映像や執筆などによって「共に生きるとは何か」をテーマに、人々の協働や共同体のあり方を問い直す芸術実践を行う。近年は、育児とケアの視点からアートを捉え直す制作、執筆活動を行っている。2024 年より現職。

副産物産店（ふくさんぶっさんてん）

矢津吉隆・山田毅による、アーティストのアトリエから出る魅力的な廃材を"副産物"と呼び、回収、販売する資材循環プロジェクト。京都市立芸術大学のキャンパス移転整備に関するプロポーザルに二人が参加し、資材と作品の循環に関するリサーチをしたことをきっかけに 2017 年にスタート。

<京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA について>

「@KCUA」とは、京都市立芸術大学の英語表記「Kyoto City University of Arts」の頭文字に場所（サイト）を示す「@」を付け、「アクア（ラテン語で「水」）」という読みをあてたものです。生命を養う水のように、芸術が人々の暮らしに浸透し、創造力豊かな社会に貢献するという本学の理念を表現しています。2010 年にキャンパス外のサテライト施設として開設されましたが、2023 年 10 月の京都駅東部エリアへの大学キャンパス移転にともない、キャンパス内施設として新たなスタートを切りました。

<京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA へのアクセス>

〒600-8601 京都市下京区下之町 57-1 京都市立芸術大学 C 棟 1 階

JR／近鉄／地下鉄京都駅 徒歩 6 分

京阪七条駅 徒歩 10 分

バス：「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」バス停下車すぐ

※来客用駐車場はありません。

※入館の際に介助を必要とされる方は、お申し出ください。



京都市
CITY OF KYOTO



<本事業に関するお問い合わせ先>

会場等実施方法に関すること

京都市立芸術大学 附属施設事務室

電話：075-585-2076

※午前8時30分～午後5時15分（平日のみ）

展覧会の出展作家や作品に関すること

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

電話：075-585-2010

※午前10時～午後6時

（月曜休館、祝日の場合は翌平日を休館）